

## 第 23 回西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会 議事概要

日 時：2020 年 8 月 3 日（月） 午前 10 時～午前 12 時

場 所：国土交通省近畿地方整備局会議室とグリーンルーム（あおぞらビル 3F）を zoom で繋いで開催

出席者：国土交通省近畿地方整備局会議室（17 人）；国土交通省近畿地方整備局道路部（5 人）、大阪国道事務所（4 人）、阪神高速道路株式会社（4 人）、原告側弁護団（3 人）、あおぞら財団（1 人）

グリーンルーム；原告団（計 10 人）、大阪連合会（1 人）、あおぞら財団（3 人）

参加者数：31 人

- 
- (1) 被害者の訴え（山下晴美さん）
  - (2) 国土交通省からの資料説明（国土交通省：資料 1 大阪市西淀川区 大気の状態、資料 2 国道 43 号 大型車交通量の推移、資料 3 国道 2 号 歌島橋交差点交通量調査結果、資料 4 大気常時観測局 PR 看板レイアウトイメージ、資料 5 国道 43 号利用者に対する環境ロードプライシング広報の拡大、参考資料 1 大阪府域における NO2 の測定結果、参考資料 2 歌島橋交差点の植栽の補植について
  - (3) 阪神高速道路株式会社：資料 6 環境ロードプライシングの広報
  - (4) 原告からの提案（西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会資料）
  - (5) 意見交換
    - ①大気の改善について
      - ・ PM2.5 が 2019 年度に初めて環境基準を下回った。COVID-19 終息後、行政としてどのように検討しているのか。
      - ・ 終息後はグリーンリカバリーとして、先行して提案してもらいたい。
        - COVID-19 の影響による経済活動の低下が大気の改善に影響を与えている。
        - COVID-19 関連の特別な調査はしていない。従前と同じくしっかり観測していきたい。
    - ②環境ロードプライシング（RP）
      - ・ 事業者に対する環境 RP に対する聞き取り調査やアンケート調査を検討し、事業者の使い勝手がよい仕組みにしてほしい。
        - 環境 RP の広報拡大を検討している。
        - 環境 RP についてはアンケート調査を実施している。認知度が十分ではないため、事業者への広報を継続して実施している。
    - ③自転車道整備について
      - ・ コロナ禍対策としても、歌島橋交差点の横断を含め、自転車が道路上を安全に走れるようにしてほしい。
      - ・ 自転車道整備について、地域の人も含めて検討できる場を作ってほしい。
        - 自転車道の整備については、大阪市が計画に基づき、7 年間で整備する予定である。国道部分は、大阪市と調整しながら整備をすすめている。
      - ・ 交通量が少なくなったのであれば、歩者分離が現実的な検討課題としてあがってくるのではないかと。国道 2 号の交通量をどう減らすのかを検討してもらいたい。
    - ④大気測定局の看板
      - ・ 看板の案が出されるまで 2 年が経過している。内容についていろいろな意見はあるが、設置を早くすすめてほしい。
      - ・ 子どもが読んでもらえるようなデザインにしてほしい。
        - スピードを優先してすすめていきたい。
        - 文言などについては、ワーキングでも調整する。

（文責 谷内）